

# 「全国都市緑化とっとりフェア」が開幕!

# 因幡エリアで過ごす、秋の鳥取

白兔(はくと)神社(はくとしんじや) 神話ゆかりの地である、鳥取県東部の因幡地域。今週末9月21日(土)・22日(日)に開催される「全国都市緑化とっとりフェア」のメイン会場がこのエリアにあります。この秋は、同フェアとともに風情と伝承を感じながら「過(あや)さず」を満喫してください。

## 鳥取流の百花繚乱(りょうらん)

エントランスを抜けたところで目に飛び込んできた、見上げるほど大きなフラワーポット。よく見ると砂でできている上、表面はポットの花をたたえるように彫刻が施され、鳥取砂丘を有する同県らしい演出です。

(こ)は、9月21日(土)から始まる「全国都市緑化とっとりフェア」のメイン会場、湖山池公園。広さ日本一の池のほとりは開幕を控え、キキョウやオミナエシなどなじみのある花が咲いています。しかし全国都市緑化フェアといえば花と緑の博覧会、派手なイメージがありますが…。

「同じ百花繚乱でも、鳥取県に自生する植物、風土に合う植物にこだわったナチュラルガーデンですからね」と声を掛けてくれたのは同フェアのアドバイザーで、日本で数々のナチュラルガーデンをデザイン・設計してきたポール・スミザーさん。「一度咲いて終わってしまう一年草ではなく、剪定(せんてい)い)や株分けをしながら毎年楽しめる多年草を中心に、会期中は200品種以上見られます」草花の奥に池が広がり、山が見える。日本の原風景ともいえる。

## ポール・スミザーさんの一押し

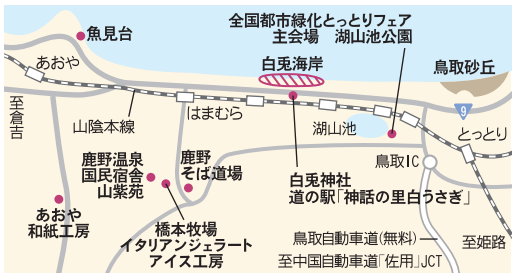
鳥取は、暖かい地域や寒い地域の植物、海岸植物や高山植物、山野草など、多種多様に生息する「植物の宝庫」。日本一広い池のほとりに植えられた草花たちが、周りの景色に美しく溶け込んでいます。会場では、今までの全国都市緑化フェアにはなかった、立体的な眺めが楽しめるはず。



える景色を描き出す「鳥取流緑化スタイル」の完成形やかに。ナチュラルガーデンの他にも、砂像と草花を組み合わせた「アースガーデン」、地元の料理などが味わえる「しげ市場」など、園内での楽しみは尽きません。

## 風情に浸り、伝統に触れる

同フェアを旅の目的にした時、滞在先の一番手は同じ因幡エリアにある鹿野温泉です。山あいの田園地帯に湧く温泉はこじんまりとしながらも風情豊かで、ざわついた日常をしばし忘れるには十分。



**アクセス**  
電車…JR名古屋→(新幹線)→JR姫路→(スーパーはくと)→JR鳥取(約3時間20分) 車…一宮IC→(名神高速道路→中国道)→佐用JCT→(鳥取自動車道(無料))→鳥取IC下車、鳥取市街へ(約340km)

**問い合わせ**  
ふるさと鳥取県産業・観光センター  
(中区栄4・1・1 中日ビル4階/電話052・262・5411)  
<http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

最後に「道草グルメ」を。搾りたての牛乳で作るジェラートが話題なのは、「橋本牧場イタリアンジェラートアイス工房」。道の駅「神話の里白うさぎ」の、イカスミを練り込んだパンズでモサエビのカツを挟んだ「もさバーガー」は白兔神話にちなんだご当地バーガー。どちらも行き帰り問わず、道すがらにぜひ。



白兔(はくと)神社の参道両側に鎮座する、ウサギの石像

漁師が魚の大群を探したという「魚見台」。白兔海岸が眼下に広がる